

2017 年に続き

2018 年秋 彦根城パーク・アンド・バスライド社会実験を実施しました

～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～

社会実験の概要

■当パーク・アンド・バスライドについて

彦根インターチェンジから彦根城までの慢性的な交通渋滞の緩和や観光客の周遊等を目的に、自家用車から専用バスに乗り換えて目的地まで向かう「パーク・アンド・バスライド社会実験」を 2 年目の社会実験として実施しました。

今回、2018 年秋は延べ 8 日間実施され、2017 年より多くの方々に利用していただくことができました。以下、この社会実験の結果概要をお知らせします。

パーク・アンド・バスライドとは

マイカーを専用駐車場に停め、専用バスに乗り換えて目的地まで向かうことをいいます。

実施のメリットは

利用者にとっては、混雑する可能性の高い道路はバスに乗り、彦根城など目的地側での駐車場探しや、入庫待ちの心配等を解消することができます。また、地域にとっては、これらの“うろつき交通”等が減り、自動車交通の流れがよりスムーズになることが期待され、また、観光周遊の活性化を期待することができます。



実施内容

●実施日：10月13日（土）から11月4日（日）までの土・日・祝日の計8日間実施

●インター前駐車場の開設時間 8:30 から 18:00 まで

●バス運行時間：（行き）彦根城方面 9:00 始発
（帰り）インター前駐車場方面 16:20 最終便
（イベント時 17:20 最終便）



2017 年の利用者ご意見を反映し、イベント時はバスを大型とし、夕方に 2 便を増便、最終便の発車時刻を 40 分延長し改善しました！



実施日

10/13 SAT	10/14 SUN	10/20 SAT*	10/21 SUN*
10/27 SAT	10/28 SUN	11/3 SAT*	11/4 SUN

バス運行時間／9:00～ 帰りのバス発車時間は、各バス停の時刻表をご確認ください。

インター前駐車場ご利用時間／8:30～18:00

■ 通常時ルート ■ イベント時ルート



彦根城
パーク&バスライド 1
社会実験 2018

2017年に続き



2018 年秋 彦根城パーク・アンド・バスライド社会実験を実施しました

～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～

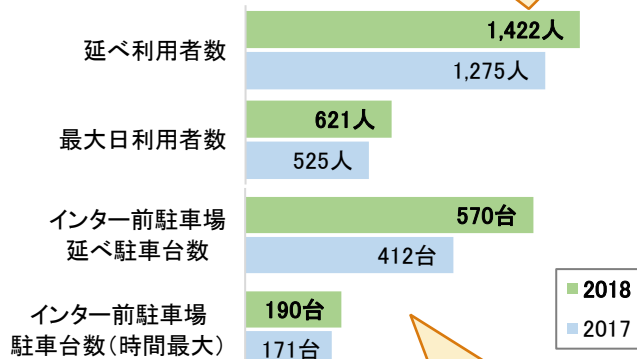


社会実験の結果

今回は、2017 年結果を踏まえバスの大型化、増便に加え、利用者が協賛店舗の利用で特典が得られるようにするなど、利用者増加のための工夫を行いました！

■利用者数・駐車台数

	2017 年	2018 年
延べ利用者数	1,275 人	1,422 人
最大日利用者数	525 人 (11/3(金・祝) 城まつり)	621 人 (10/21(日) ご当地キャラ博)
インター前駐車場 延べ駐車台数	412 台※	570 台
インター前駐車場 駐車台数 (時間最大)	171 台 (11/3(金・祝) 14 時台 城まつり)	190 台 (10/21(日) 12 時台 ご当地キャラ博)



この台数は、城周辺駐車場の駐車台数を加えた全台数 925 台の約 20%に相当しており、城周辺の交通混雑、道路混雑の低減に寄与したものとされます。

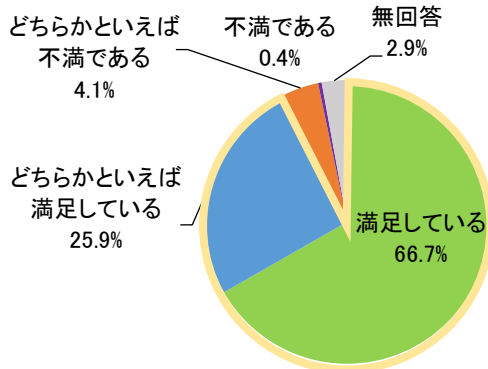
※2017 年は延べ駐車台数を計測していないため、1日当りの最大駐車台数の合計値を記載しています。

■利用者の感想【パーク・アンド・バスライド利用者アンケート】

2017 年と同様、利用した方のほとんどが「満足」、「次回も利用してみたいと思う」と回答をいただきました。

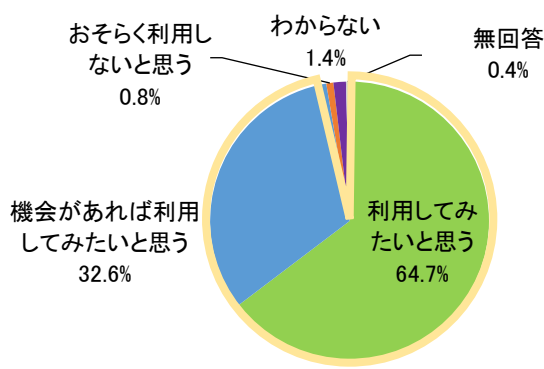
Q.「利用した感想」をお聞かせください。

(N=487)



Q.このパーク・アンド・バスライドを次回も利用してみたいと思われませんか。

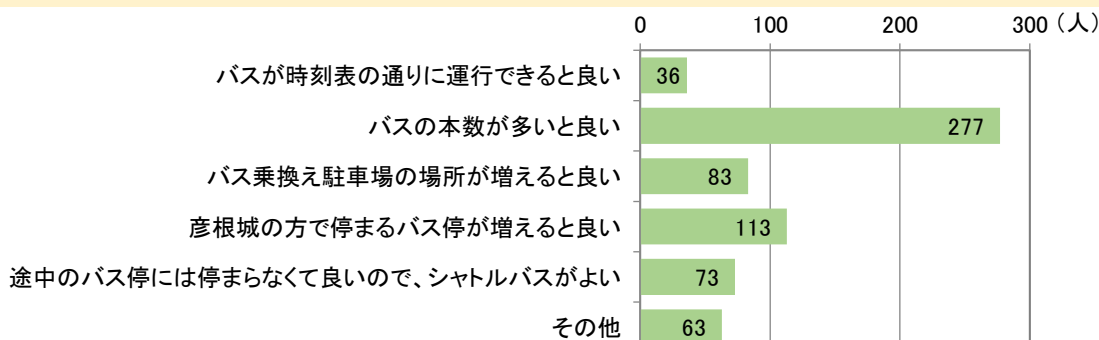
(N=487)



「バスの本数が多いと良い」が半数以上と最も多く、次いで「バス停が増えると良い」という回答が多くなっています。

Q. パーク・アンド・バスライドについて「改善できると良いと思う」ものを教えてください。 (回答は複数回答 (3つまで))

(N=487)



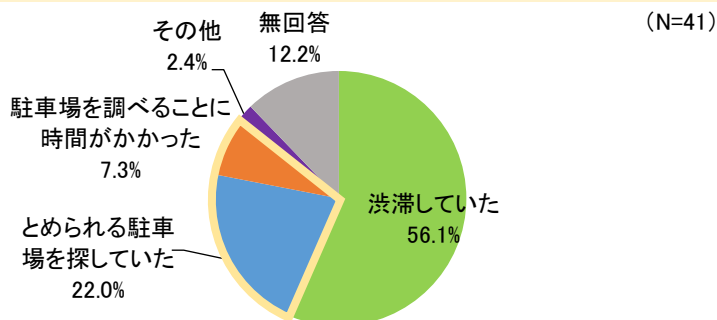


社会実験の結果

■城周辺駐車場に自家用車を停めた方の状況【一般駐車場利用者アンケート】

城周辺の駐車場に車を停めた方（当パーク・アンド・バスライドを利用しなかった方）で、スムーズに移動できなかった理由は渋滞のほか、「駐車場を探していた」「駐車場を調べていた」ことにより時間がかかっていることがわかりました。

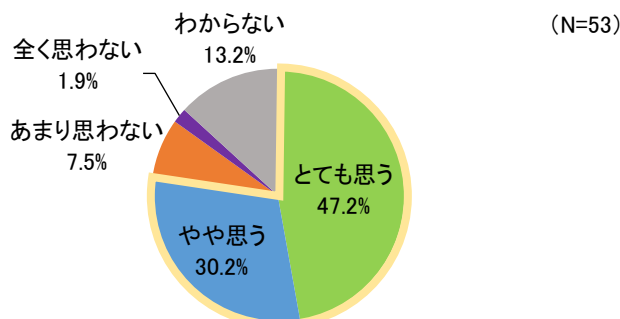
Q.スムーズに移動できなかった主な理由をお聞かせください。



■近隣商店街事業者の印象【近隣商店街事業者アンケート】

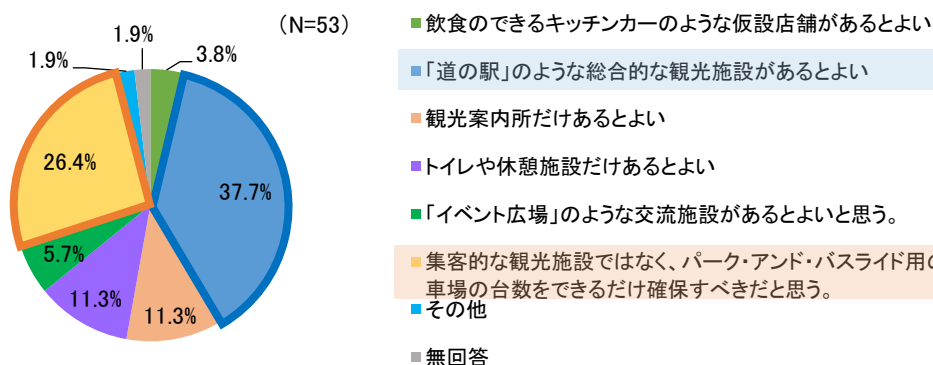
近隣商店街事業者のほとんどの方が「当パーク・アンド・バスライドが定着すると良い」と回答しています。

Q.将来、このような「パーク・アンド・バスライド」が定着すると良いと思いますか。



また、彦根インター前駐車場に、将来的に導入がふさわしいと思われる施設、機能として多くあげられたものは「総合的な観光施設」となっていますが、「パーク・アンド・バスライド用の自家用車駐車場」のように今回の社会実験の本来の機能をあげている方もみられます。

Q.彦根インター前駐車場に将来的に導入がふさわしいと思われる施設、機能をあげてください。



社会実験の効果【交通面】

■交通混雑の緩和

インター前駐車場の日最大駐車台数は10月21日（日）12時台の、190台です。

この台数は、城周辺駐車場の駐車台数を加えた全台数 925 台の約 20%に相当しており、城周辺の交通混雑、道路混雑の低減に寄与したものとされます。



【桜場駐車場】



【二の丸駐車場】



【大手前駐車場】



【インター前駐車場】



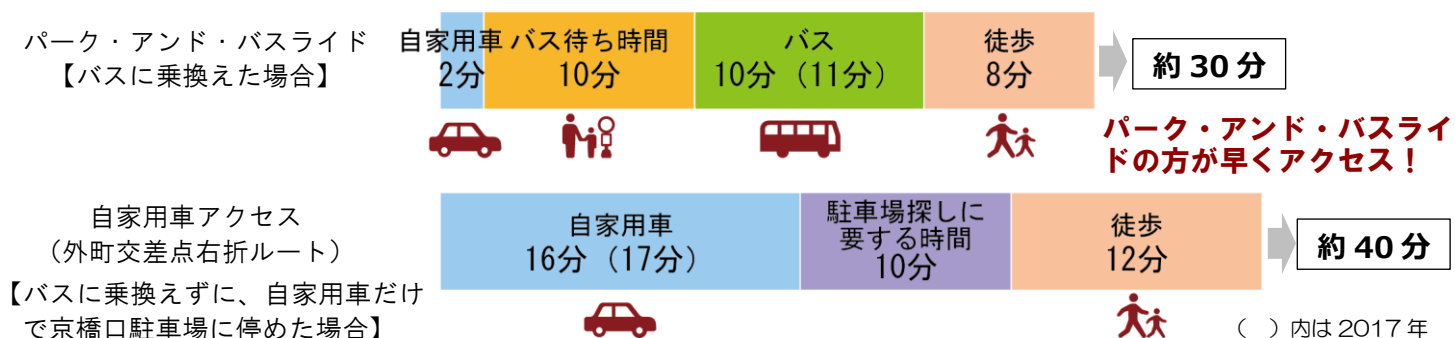
【京橋口駐車場】



【文化財保存用地駐車場】

■彦根 | C～彦根城へのアクセス時間

条件にもよりますが、混雑時にパーク・アンド・バスライドを利用すれば10分ほど早くアクセスできます。



(彦根ICを出た地点から彦根城表門橋の地点まで到達する所要時間を計測した平均値。
バス待ち時間、駐車場探しに要する時間はバス時刻表、アンケート結果等より設定した)

■CO₂の削減

彦根 I C～彦根城の往復の距離、約 7km を自家用車からバスに転換したことにより、1 年間に杉の木 60 本が吸収する CO₂ 量に相当する 800kg-CO₂（試算値）が削減され、2017 年と合わせると、杉の木 100 本が吸収する 1500kg-CO₂ が削減されたことになります。





社会実験の効果【観光面】

■利用者数（入山者数に占める割合）

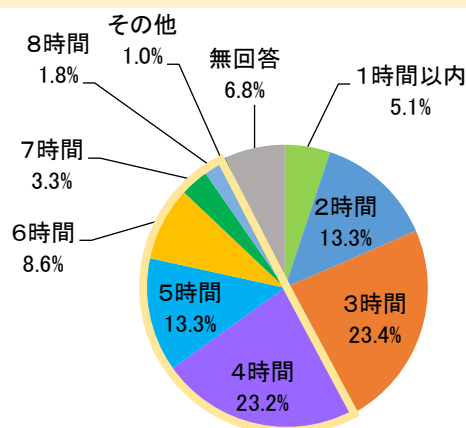
パーク・アンド・バスライドの最大日利用者 621 人（10 月 21 日（日））は、同日の入山者数 4,239 人の 15%を占めており、社会実験のバス運行が観光面に貢献していることが把握できます。

■駐車時間

パーク・アンド・バスライド利用者の方が、一般駐車場利用者より駐車時間が長くなっています。このことからパーク・アンド・バスライドを利用すると、滞在時間がより長くなる可能性があると考えられます。

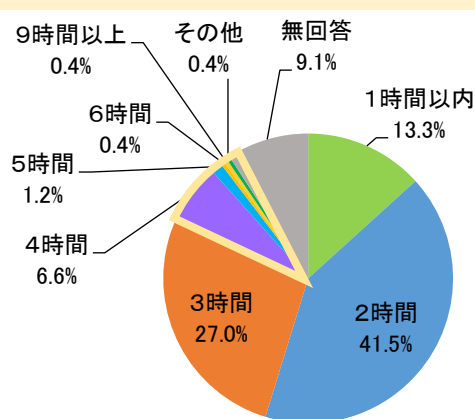
パーク・アンド・バスライド利用者（駐車した時間）

(N=487)



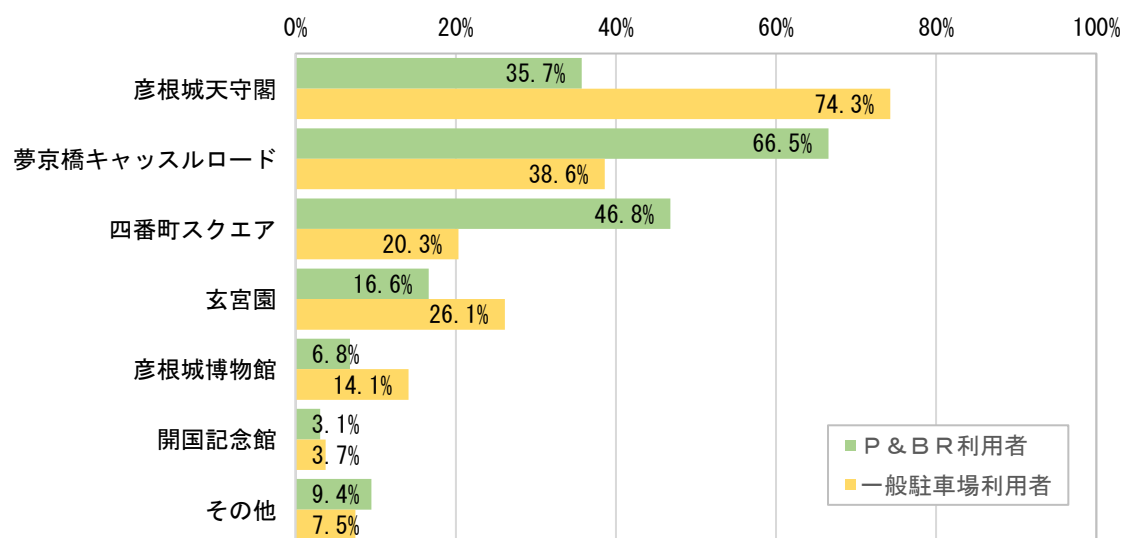
一般駐車場利用者（駐車する予定時間）

(N=241)



■訪問場所

パーク・アンド・バスライド（P&BR）利用者のほうが、彦根城天守閣だけでなく、夢京橋キャッスルロードや四番町スクエアを訪問する割合が高くなっており、周遊効果があると考えられます。



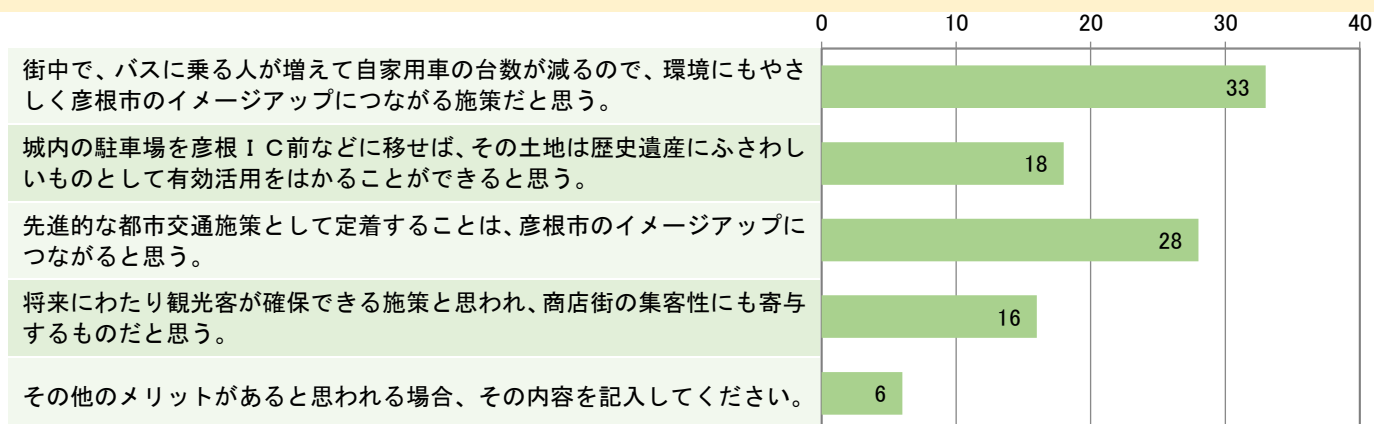


社会実験の効果【観光面】

■観光のための有効な土地利用

近隣商店街事業者のパーク・アンド・バスライド実施のメリットとして考えられるものは、彦根市のイメージアップであり、土地の有効活用策として、城内の駐車場用地を歴史遺産にふさわしいものに活用するという回答が得られています。

Q.「パーク・アンド・バスライド」の実施により、どのようなメリットがあると思われますか。(複数回答3つまで)



■社会実験の課題

これまで2017年秋、2018年秋の2回にわたる実験を行い、次のような課題が抽出されました。

- イベント日は多くの方が利用したが、イベントのない日は利用者が少ない状況がみられた。
- これまで無料で実施しており、本格運用を見越して有料での需要や満足度を把握する必要がある。
- 社会実験の利用者の車の台数分だけ、城周辺の交通量が減少していることになるが、全体交通量に対してその減少分が非常に小さいため、社会実験の施策のみによる抜本的な交通渋滞の緩和は難しい。

以上の課題の対応を進めながら今後も引き続き社会実験を行い、より良いものへと改善してまいります。

今後ともご理解・ご協力をお願いします。

次回、
ご利用ください！



【実施機関】彦根市

【協議機関】彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会

【協議会構成】学識（立命館大学・滋賀県立大学）／国土交通省（滋賀国道事務所・滋賀運輸支局）／滋賀県（湖東土木事務所）／彦根警察署／彦根商工会議所／彦根観光協会／NEXCO中日本／湖国バス(株)／彦根市

【事務局】彦根市役所 都市建設部都市計画課

【事務局支援】玉野総合コンサルタント

【協力】彦根ボランティアガイド協会